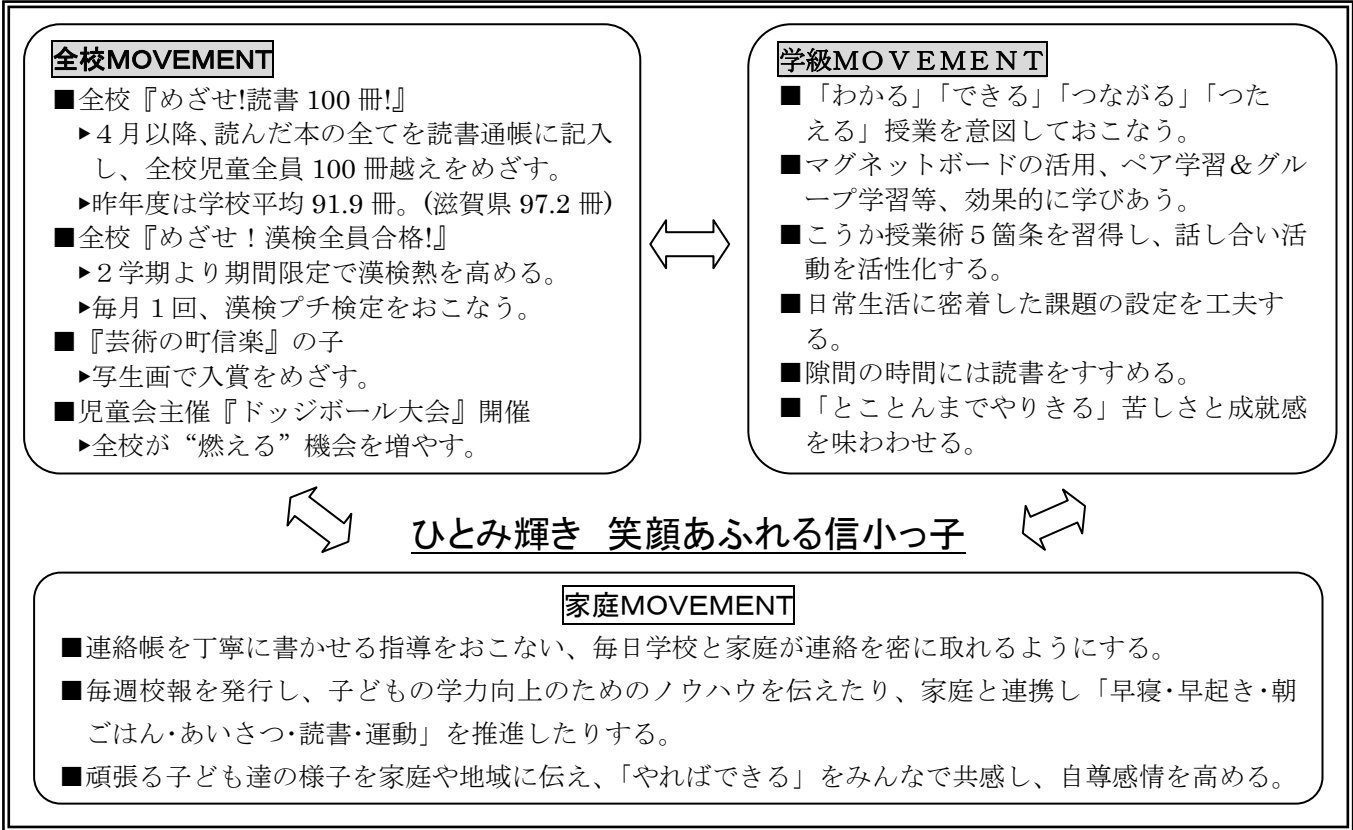


○本校の学力向上に関わる課題

**児童の実態**  
 ○明確な課題に対しては、まじめに取り組める。  
 △ゲームやネットに費やす時間が長く、将来の夢を具体的に描けない。  
 △こつこつ根気強くやらないといけない勉強は嫌い。  
 △読書が嫌い。作文が嫌い。

**全国学力・学習状況調査から**  
 ○基礎的、基本的な知識・技能は定着してきた。  
 ○スモールステップでみんなとなら頑張れる。  
 △国語・算数・理科とも、「読解力」「探究心」「根気」に欠ける。  
 △複数事象の関連を尋ねられると、どうしてよいかわからない。

○学力向上へのアプローチ



**教師の指導力向上**

- 信楽ブロック小中学校の全教員が教科グループをつくり、『こうか授業術5箇条』に沿った授業研究を行う。
- 学年部会を定期的で開催し、日常的な取り組みの情報交換や教材研究を行う。
- 初任者の授業研究を通じて、全職員で学力向上のための授業力向上を図る。

○学力向上策の検証 (H28. 12以降改訂予定)

- ◇ 「学校評価 (児童・保護者・教職員)」の活用 (年に2回おこない、評価を比較する)
- ◇ 授業研究会による検証
- ◇ 「学力・学習状況調査」や甲賀市「学力診断テスト」の活用
- ◇ 「読書100冊」達成者 (昨年度比較)
- ◇ 漢検合格者 (昨年度比較)
- ◇ 全国教育美術展・滋賀県教育美術展・お話を絵にするコンクール入賞者 (昨年度比較)